

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年12月11日

【評価実施概要】

事業所番号	0174600692		
法人名	株式会社 しらかば		
事業所名	グループホーム すずらん		
所在地	北海道帯広市東11条南5丁目1番26 (電話) 0155-20-6220		
評価機関名	タンジント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成20年12月10日	評価確定日	平成20年12月16日

【情報提供票より】(平成20年11月10日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)16年8月1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	18人	常勤	10人, 非常勤 8人, 常勤換算 12.1人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨カラー鉄板葺 造り		
	2階建ての 1~2階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	22,500円	その他の経費(月額)	23,500円
敷金	有(円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,400円		月額

(4) 利用者の概要(11月10日現在)

利用者人数	17名	男性	4名	女性	13名
要介護1	6名	要介護2	3名		
要介護3	5名	要介護4	3名		
要介護5			要支援2		
年齢	平均 78歳	最低	69歳	最高	88歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団 イワタクリニック・医療法人社団 大江病院 つがやす歯科医院
---------	---

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

帯広市内の幹線沿いの交通の利便性に優れた閑静な住宅街の中の広い敷地が用意されている2ユニットの鉄骨造り2階建てのグループホームです。事故の未然防止と再発防止のためにヒヤリ・ハットメモで、データ集積して事例研究や職員が共有できる取り組みや利用者とのコミュニケーションを大切にしたり、意思表示できない本人には表情とか仕草で思いを察し、嫌な感情が残らない様な支援に取り組んでいます。また、地域や町内会の新年会やお花見などに参加しての交流でホームに対して協力的でタオルやウエスなどの寄贈も受けています。家族の相談や不安への対応も行われ、疎遠だった本人と家族の絆の再構築への支援も実践されています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、運営推進会議を活かして市や包括支援センターとの連携をさらに深める取り組みについて改善点が見出されていましたが、出前講座等で市担当者の協力を得て研修会の実施が行われケアサービスの質の向上に活かされています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に利用されています。外部評価の結果については、運営推進会議で報告され改善の機会として取り組まれています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、2ヶ月毎に実施され、主な議題についてはホームの運営状況について 介護保険の認定状況について 町内会清掃作業参加について 外部評価について 次回の運営推進会議の要望について
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 利用料金を持参の際に意見や苦情、不安な点など十分にコミュニケーションができるように心がけ、そこでの意見が運営に反映できるように検討されています。また、定期的にグループホーム「すずらん通信」の発行や一人ひとりの「お便り」で日常生活の様子や健康状態、行事参加の様子など家族に報告されています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 町内会加入で、近隣住民がホームに対して理解がありタオルやウエスなどの寄贈を受けています。町内会主催行事は、新年会やお花見、野遊会、清掃作業や資源回収などと多くそれらの行事参加を通じて地域の人達との交流や認知症に対する理解や啓発に取り組んでいます。また、気軽に日本庭園が散歩できるように近隣住民から声掛けいただくなど地元の人々との交流も実践されています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、独自の運営理念をもとに「五つの願い」「七つの誓い」を具体的目標として掲げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホーム長・管理者、職員は理念を共有し、その実践に向けて日々取り組んでいる。また、名札の裏に常に理念を携帯している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会加入で、近隣住民がホームに対して理解がありタオルやウエスなどの寄贈を受けている。町内会主催行事は、新年会やお花見、野遊会、清掃作業や資源回収などと多くそれらの行事参加を通じて地域の人達との交流や認知症に対する理解や啓発に取り組んでいる。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に利用されている。外部評価の結果については、運営推進会議で報告され改善の機会として取り込まれている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、2ヶ月毎に開催されている。委員は、利用者家族、町内会役員、民生委員、老人クラブ役員、ホーム長及び管理者・職員で構成され具体的に取組んでいる。</p>		<p>今後は、さらなる理解や啓発の為に委員に具体的なケアサービスの実践を見て、意見を戴く機会をつくることを期待します。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>日常の業務を通じた交流の他に、出前講座等で市担当者の協力を得て研修会の実施が行われケアサービスの質の向上に活かされている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>定期的にグループホーム「すずらん通信」の発行や一人ひとりの「お便り」で日常生活の様子や健康状態、行事参加の様子など家族に報告されている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用料金を持参の際に意見や苦情、不安な点など十分にコミュニケーションができるように心がけ、そこでの意見が運営に反映できるように検討されている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>ホーム長及び管理者は、職員の離職や異動などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ホーム長は、外部研修参加を奨励し、帯広市や十勝支庁、グループホーム協議会や保健所などの研修に積極的に参加している。また、法人内の内部研修会も実施している。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会や同一法人の他施設との交流を通じて、サービスの質の向上に取り組んでいる。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、入居前には、利用者・家族の不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるよう相談しながら工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、利用者と共に料理方法や味付け、洗濯物たたみや裁縫、カラオケなど趣味への支援や散歩や外食、ドライブ、畑作業など支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	一人ひとりの思いや暮らし方の希望を大切に、散歩やスーパーでの買い物、外食やドライブ、雑巾縫いやカラオケなどの趣味への支援が行われている。また、センター方式が採用されている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画は作成されており、利用者、家族の希望や医師からの助言・情報や全体会議で職員からの意見を取り入れ具体的な介護計画となっている。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画書に記載している個別の期間を目安に評価を行い、計画的に見直しが行われている。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、通院の支援やドライブ、外食など柔軟に行っている。また、医師・歯科医師の往診にも対応されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	常勤の看護職員とかかりつけ医との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。また、利用者、家族の希望や要望に応じて状態変化などについても適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、協力医療機関と連携して、利用者・家族とも段階的に相談しながら職員間で共有されている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの誇りやプライバシーを尊重した声かけや記録等の個人情報の扱いは、配慮されている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切に、その思いを尊重して買い物や散歩、入浴、家事・掃除の手伝いなど本人の希望に沿って支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、職員と利用者が本人の希望や力量に応じて一緒になって食事の準備や後片付けをしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、週2回を目安にゆっくりとくつろいで入浴が楽しめるように支援されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、雑巾縫いや畑での野菜の収穫、掃除、食事の準備、バイキングなどの外食や買い物など支援されている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりのその日の希望にそって、買い物、散歩、畑作業での野菜の収穫など日常的な外出が支援されている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、利用者はいつでも外出できる。また、利用者が外出する時は、職員が見守り安全面で配慮されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	資格を持った防火管理者が配置され、緊急時に全ての職員が速やかに対応できるように火災避難訓練が年2回実施されています。また、非常食も2週間分確保されている。		今後は、救急救命訓練が定期的実施されることを期待します。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	専門の調理員が配置され、具体的な水分・食事摂取量が記録され、栄養バランスやカロリーについてもおおよそ把握されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室や居間では、利用者にとって気になる臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。ベランダからは、新緑や紅葉を味わうことができ季節感や気分転換ができるように工夫がされている。また、共用空間は広くゆったりとしたスペースで趣味や職員と談笑などして楽しんでいた。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、家族や行事参加の写真が飾られていたり、仏壇や使い慣れた家具、テレビなどが持ち込まれ安心して過ごせる場となっている。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。